

BE KOBE BE KEIO

2019 年 11 月 30 日発行

発行人：小池剛

発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルディング 625

TEL：078-393-0050

FAX：078-393-0051

E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp

URL：<http://www.kobekeio.org/>

編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

関西合同三田会 in 神戸

11月10日(日)は、すっかり秋めいてきた好天の大安吉日で、延期された天皇陛下の即位の礼の祝賀パレードの日と重なるという、おめでたい日に関西合同三田会 in 神戸が神戸ポートピアホテルにて開催されました。幹事団で1年以上かけて準備し、PR活動も行っていました。お蔭様で、過去最高の730名を越える方々にお集まり頂くこととなりました。

式典では、塾長の基調講演では、なんと3年連続で六大学野球優勝の報告となりました。その後、體育會蹴球部のレジェンドである松永敏宏様、玉塚元一様、若林俊康様、福澤克雄様、廣瀬俊明様にお越し頂き、大森常任理事様と子守康範様と井田香菜子様の進行でパネルディスカッションが行われました。小泉信三先生の「練習は不可能を可能にする」という言葉が焼き付いている。との話もありました。学生時代には、ラグビーの部活が100で勉強が0であったこととか、逃げ出したいくてタクシーにぶつかろうとしたこと等の当時のエピソードをお話し頂き、様々な苦労はあっても、あの当時に比べれば乗り越えられるとの思いと、何よりも仲間がいたことが糧となってここまでやってこられたとのことでした。

引き続いての懇親会では、キッズ・オーケストラの演奏からのスタート！全員で「丘の上」の斉唱もありました。神戸慶應倶楽部の会員の故瀬戸様によるビール・ウーロン茶、谷口様による黒毛和牛、大澤様による日本酒、中内様によるシャンパン、山本様によるチョコレート・スイーツ及び他のスイーツ各社への協力要請、福井慶應倶楽部の辻川様によるワインと多くのご協賛を頂いて、美味しい食事を思う存分楽しんで頂けたのではないかと思います。

蹴球部の福澤様と廣瀬様には、懇親会でもいろいろなエピソードを披露して頂きました。

また、小川理子様が大阪関西万博の誘致活動の最終プレゼンターの再現をして頂きました。

そして、再度、関西フィルの首席指揮者の藤岡幸夫様の指揮によるキッズ・オーケストラの演奏に、元女子高の則松亜海様の素晴らしい歌声で皆さんを魅了してくれました。

最後には、久木野良樹様のMCで美熟女？のチアリーダーをバックに応援指導部によるエールが華やかに、元気よく行われました。これらの盛りだくさんのイベントを子守様の名司会で時間通りに進行してくれました。

多くの方々から、良かった！楽しかった！美味しかった！との賞賛の言葉をお聞きしております。私自身、実行委員長として、何とか前回の2011年の伝説を汚さぬ様、さらに神戸らしいお洒落で品位あり、盛大なイベントを目指して参りました。見えない所で、いろいろと至らぬ点もあったかと思いますが、無事、高評価で終わることができ、肩の荷が下りたと共に、達成感で一杯であります。

お越し頂いた来賓やゲストの方々、参加下さった方々、そして、一緒に何回も打ち合わせして準備に協力してくれたスタッフの皆様本当に感謝致します。

皆様、本当にありがとうございました！！

実行委員長 松尾茂樹





















関西合同三田会 in 神戸を終えて

2019年11月10日15時30分、ほぼ予定の時間通りに2019関西合同三田会 in 神戸を無事終えました。2018年6月の実行員会キックオフから約1年半、少しずつ積み上げ、走り続け、結果、参加者全員にご体感いただいた通り、最高にゴージャスな合同三田会となりました。とにかく、8年前の合同三田会神戸大会があまりに素晴らしかったので、実行委員会のプレッシャーはそのハードルをどう超えるか、その思いだけだったように思います。

ドラマ「ノーサイドゲーム」のヒット、ラグビー日本代表チームの期待以上の活躍ぶり、日本人のほとんどがにわかラグビーファンとなって狂気したラグビーワールドカップ。そのフォローウインドも我々実行委員の背中を押してくれました。そして、委員長以下、各チームの働きぶりも賞賛に値します。たくさんの来賓のアテンドと式典の取り仕切りは今泉式典委員長が中心となって、ステージ上の多数のパフォーマンスと合間の懇談や食事のバランスは天竹委員長が、彼らの創意工夫と綿密な計画性、実行力なしにこの完成度は実現不可能でした。膨らむ予算を随時アップデートしてクオリティとコストを常に両睨みさせてくれたのは、郷田委員長でした。そしてコンセプトをデザインに昇華させ、全ての広報物を一手に担ってくれた鳥巢委員長。当日は、彼が作ってくれたピンバッジ“BE KOBE BE KEIO”を胸に、全員で神戸らしく、慶應らしくおもてなしさせていただきました。

「730名参加という規模、これだけ盛り沢山で上質なエンターテイメント、神戸の誇りをかけたお食事とスイーツ、凄く充実度でした」多くの方々からいただいた我々の狙い通りの、いえ、期待をはるかに超えたお礼の言葉と賞賛が最後にこの1年半をねぎらってくれました。

「伝説ふたたび」最初のチラシに記されたキャッチコピーがそのまま言霊となって、2019関西合同三田会 in 神戸を無事成功裡に導いてくれたのかもしれません。実行委員長以下、誰ひとり欠けてもできなかった我々の関西合同三田会、テーマに掲げたラグビー同様チームワークで無事乗り切ることができました。爽快なまでの達成感を味あわせてくれたすべての実行委員に心から感謝申し上げます。

副実行委員長 橋本敦子

～10 月例会～

関西合同三田会に先立ち、10月11日（金）、11月例会が開催されました。

ゲスト講師は、関西合同三田会でワインをご協賛いただいた「ラブレ・ロワ」様の辻川ゆかり氏（平成元年文学部卒）。三宮旧居留地のジョルオーネにて、ワイン会と銘打ち、まずはブルゴーニュワインについて、その歴史や世界中で飲まれるようになった理由などを学びました。

ワインは、夏の気温や降水量、日照時間といった気候的な要件だけでなく、ブドウ畑がある場所の方角や標高、傾斜などの地理的要件、さらにはブドウが育つ畑の下層にある土壌の性質といった地質的条件までもが、その個性として影響するそうです。中でも最高級のブドウ畑はグラン・クリュと呼ばれ、中世から継承された歴史的な畑として、ワインの品質を保証するしるしとなるとのこと。遙か歴史の彼方、修道士がブドウを栽培し、ワインを醸造していた頃から、ブルゴーニュ公国、フランス王朝時代、さらにはフランス革命を経て、ブルゴーニュのブドウ畑とワイン醸造技術が大切に継承されてきたことがわかります。しかも醸造家がその心血と情熱を注いでブドウと向き合い、自然への感謝を持ちながら育てあげる天からの恵みなのです。その奥深さの一端を知ることができました。

ワイン講座のあとは、「ワインに合うお食事」とともに、ラブレ・ロワが誇るワインのラインナップから、厳選されたワインをいただきました。

乾杯のクレマン・ド・ブルゴーニュのさわやかな香りと繊細な泡の美しさは、まさにこれから始まるお食事と心躍る歓談への期待を高め、魚介類の前菜に合わせたシャルドネとシャブリは、それぞれの個性があってテーブルの皆さんもその好みで会話が盛り上がります。どちらも口当たり良く、美味しいお料理とワインに皆さんの気分も高揚する中、会場は講師である辻川氏へのワインにまつわる質問タイムとなり、いつしかワインに関する熱い語らいの場となっていました。肉料理に合わせたピノ・ノワールとムーラン・ナ・ヴァン酌み交わしながら、皆さんのワインに対する深い愛情が吐露される、賑やかで楽しい時間はあっという間にすぎました。

そしてなんと例会当日は浅沼先輩のお誕生日。田村先輩のピアノ伴奏で、会場の皆さんで心をこめてハッピーバースデーを歌わせていただきました。浅沼先輩、お誕生日おめでとうございます。是非、これからもお元気で、私たちのお手本でいらしていただきたいと思います。

その後、関西合同三田会の松尾実行委員長からは、当日に向けて神戸慶応倶楽部全体で盛り上げるための「楽しみましょうよ！」の言葉が、私たちのミッションとして共有されました。

最後は、大沢先輩の右肩上がり乾杯！と恒例の若き血。来る11月10日の大会に向け、心を一つに期待高まる会となりました。

内藤真貴子（平7法）



会員だより

《新入会の挨拶》

はじめまして昭和 57 年商学部卒の上園です。

この度縁あって神戸慶應倶楽部に入会させていただき光栄に存じます。

三田会にはシカゴ、ニューヨーク、そしてジャカルタでお世話になりましたが、日本で入会するのはこれが初めてです。

東京出身ですが、会社人生では東京は 7 年のみで残りは 16 年を海外、16 年を関西(神戸在住)と転々としてきました。12 回目の引越でようやく第 2 の故郷である神戸に落ち着きそうです。

仕事は日本の某国際海運会社に所属しておりましたが、3 年前に子会社の港湾物流会社に転籍しました。

趣味は、ゴルフと音楽と酒と美味しい食べ物です。特に、ゴルフはへたの横好きながらエイジシュート目指すという大胆不敵なことを考えています。

皆様と末永くお付き合いさせていただきたいと思っております。よろしくお願いします。

上園雅彦 (昭 57 商)

～濱根杯～

10/2 有馬ロイヤルゴルフクラブにて第 5 回濱根杯が開催されました。

濱根杯は慶早コンペとは違い、神戸慶應倶楽部単独のゴルフコンペでして、復活して 5 年目になります。

今回は 2 組と少し参加者が少なかったのですが、先輩方と楽しくラウンドさせていただきました。同伴者とハンデに恵まれて、優勝させていただきましたので、次回幹事としてより多くの会員の方にご参加いただけるよう頑張りたいと思います。

参加者 五代友和・山上高弘・城口 隆・中田ゆかり・山本俊一・和田真一・天竹清裕

天竹清裕 (平 15 経)



同好会だより

【KKJC】《KKJC 活動報告》

今年のKKJC ジャズツアーは9月21日より3泊4日の行程で台湾に行ってきました。前回は7年前の2012年、台北中心の観光とジャズライブ、台湾三田会との合同晚餐会、池井名誉教授の講演会、そして美味しい食事を堪能しました。そして今回は台湾の2大観光地、台湾のほぼ中央に位置する2000メートル級の山々に囲まれた幻想的な姿を見せる淡水湖・日月潭と、台湾東部の花蓮に近い大理石の切り立った断崖が連なるタロコ溪谷の観光をメインに、小川理子さんのソロピアノライブから始まる台湾三田会との合同晚餐会を台北で行うという盛りだくさんのスケジュールでした。

朝の7時半に関西空港に集合した21名と現地で合流した6名の27名が参加したツアーですが、2度目の台湾旅行のスタートです。

1日目は桃園国際空港に到着後バスで移動、台中に向かいました。途中、黄金の弥勒菩薩像で有名な宝覺寺を訪問、日本人戦没者14,000人を納めた共同墓地をお参りしホテルに向かう。夕食は日本では珍しい「客家料理」です。（*客家とは広東省・福建省・台湾では台中近郊に住む漢人で、孫文、鄧小平、リークアンユー、李登輝は著名な客家人です。）夕食後は宮原眼科（日本時代の建物を活用したホットなお店です。）でお買い物、各種スイーツが綺麗なデザインのパッケージや包装紙で包まれ、旅の初日なのに皆さん沢山の買い物をされたようです。又、本場のタピオカミルクティーやトッピングしたアイスクリームを堪能しホテルに戻りました。

2日目は7時30分集合、日月潭に向かい出発。2時間後目的地に到着。通常のツアーではお寺の見学や湖の河畔でのんびり過ごすことが多いのですが、ロープウェイ駅に向かい湖をロープウェイのゴンドラから見学、素晴らしい景色でした。その後湖畔の棧橋からクルーズ船に乗り、湖上から山や周囲の景色を見学し、有名なリゾートホテル「ザ・ララー」のレストラン「湖光軒」で昼食をとり、台湾高鉄（新幹線）の台中駅に向かいました。内装以外は日本製の車両ですので日本とそっくり、約50分で台北駅に到着しホテルにチェックイン。

さて、この日の夕食は台湾三田会との合同晚餐会ですので、休憩後夜の装いで会場に向かいました。台北駅近くの新しいホテル「台北君品酒店」で19時、小川理子さんのソロピアノコンサートからスタート、約40分のライブを楽しみ、その後台湾三田会・林会長とKKJC・浅沼先輩のご挨拶後、葉前会長の乾杯の音頭で晚餐会が始まりました。台湾で唯一のミシュラン三ツ星の広東料理を味わい、デザートの際に理子さんの伴奏で日台から5名のボーカリストが歌を披露（ジャズの会ですので全員スタンダードを英語で歌う）、最後に全員で若き血を歌いお開きとなりました。

さて、3日目は7時ホテル発タロコ溪谷に向けて出発です。理子さんはこの日でお別れ、帰国の途に就きますのでホテルでお見送り。でも帰国便は夕方なのでゆっくりと台北の休日を楽しんだのではないのでしょうか。

今日はタロコ号という電車で台北から花蓮迄2時間の旅です。朝も早かったのでほとんどの皆様は睡眠をとって英気を養ってました。花蓮到着後バスでタロコ溪谷に向かい出発、溪谷入口で全員ヘルメットをかぶり、準備万端断崖絶壁の見学です。大理石の切り立った溪谷を見たり、空を見て溪谷の高さを実感しました。かつては人を寄せ付けない秘境だった溪谷に、その絶壁を削り、数多くトンネルを掘り進んで、多くの犠牲者を出してやっと完成した東西横貫公路を前にして、その難工事に思いをはせたのでは無いでしょうか。タロコ号で台北に戻り夕食は台湾料理の名店「欣葉」で最後のディナーです。予約していたメニューをガイドさんと相談していくつか変更、からすみ、しじみのニンニク醤油付け、いかの三杯中巻、ビーフンを入れて、それまでの料理との重複を無くして美味しくいただきました。

夕食後はタイペイアイで「京劇」の鑑賞です。清の時代に完成した劇ですが、今回はオリジナルのストーリーでとても良かったです。初めて見る方も多くいらっしゃいましたが、場面の説明は日本語でスクリーンに映し出されているため、ストーリーが分かり易く、訓練された運動量豊富な殺陣は迫力が有り大好評でした。ツアー最後の夜でしたので、この後も2つのコースに分かれて台北最後の夜を楽しみました。ジャズスポット「SWING」でセッションに参加され歌った方々、台湾マッサージで大いに疲れを癒した方々、皆様24時頃にホテルに戻り、長い一日が終わりました。

最終日は故宮博物館の見学から始まり、お決まりのコースですが台湾の鼎泰豊本店の小籠包の昼食、それからお茶屋さんで試飲・買い物、特産品店でのお買い物、コーヒーを飲みながら休憩をとる方、それぞれの時間を過ごしてホテルから空港に向かい帰途につきました。

KKJC世話役 大場知之



【イーゼル会】

《芸術の秋》

イーゼル会恒例の秋の写生会、当日は台風接近の予報もありましたが、まさに秋晴れの日、加古川にある聖徳太子ゆかりの鶴林寺で開催されました。鶴林寺には国宝の本堂、太子堂をはじめ数多くの重要文化財の建物が点在。

菩提樹、沙羅双樹等の緑にも恵まれた境内は絶好のモチーフ・・・ではありましたが実際に取り組んでみると微妙な反りの屋根、複雑な木組みの軒等まあなんと難しい事。メンバーからは「こんな難しい場所を誰が選んだ...。」との声も。それでも予定を1時間延長して午後4時頃には無事終了。ベンチに並べた力作を前に先生から講評を頂いてお開き。

時にはどんぐり拾いに集まった幼稚園児の歓声にも癒やされながらの楽しい一日でした。

当日の雰囲気は槌橋画伯の「今月の絵」でどうぞ。

イーゼル会世話役 天木明



《今月の絵》 槌橋眞美（昭47法）



【読書会】

《神戸慶應倶楽部読書会第63回》

第63回目の学問のすすめ読書会は、令和1年9月19日（木）16時から阪本豊起評議員の事務所で行われました。参加者は、浅沼、古淵、六拝、福野、阪本の5名でした。

今回は参加者が少なかったこともあり、「第四次産業革命」の輪読は見送り、六拝が、「菟原（うはら）住吉概少史」と題して神戸住吉地区に関する歴史を披露しました。現在「うはらホール」などに名が残っている「うはら」は摂津の国菟原郡のことで、現在の西宮市夙川付近から神戸市湊川付近にまたがる地域だったそうです。その中核をなす住吉は、中世の時代より昭和25年に神戸市と合併するまで、ほぼ同一地域で同じ習俗を持つ住民が暮らしてきた稀有な土地で、住民が住みよいところにしようと奮闘してきた特別の地域で、先人たちが守り抜いてきた住吉村の村有財産を住吉の住民が使う手段として編み出した組織が今の一般社団法人住吉学園だそうです。六拝のルーツを訪ねることも兼ねた住吉に関する歴史の旅を愉しみました。福沢先生の指導を受けた三田藩主の九鬼隆義が神戸に移住し生田川を付け替えた埋め立て地を買い占めたこと、明治10年代前半には慶応OBが兵庫県の官吏で活躍していたことなど慶応にも関係がある話題も豊富でした。そして話題は現在に還り神戸市、西宮市、芦屋市の今後のまちづくりに及んで時間となりました。

《神戸慶應倶楽部読書会第64回》

第64回目の学問のすすめ読書会は、令和1年11月19日（火）16時から阪本豊起評議員の事務所で行われました。参加者は、浅沼、古淵、六拝、善塔、古武、福野、阪本の7名でした。今回も、「第四次産業革命」の輪読は見送り、私達がともに過ごし体験してきた30年間続いた平成という時代の評価について語り合いました。また最近気になる時事問題についての考え方を披露し、議論しました。一国二制度が崩壊する香港の騒動、再選が危ぶまれるトランプ大統領、EU離脱に迷走している英国の現状と話題は尽きることはありませんでした。

次回は「第四次産業革命」第3章「経済、ビジネス、国家と世界、社会、個人への影響」の四「世界の安全保障の新境地」（120P）から始めます。

『サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福 ユヴァル・ノア・ハラリ著』のほうは今回も全く手が付けられませんでしたので、次回は「口を利く死者の霊」（75P）から輪読します。

次回の第65回目の読書会は、令和2年1月21日（火）15:00から、阪本評議員の事務所（建隆ビルⅡ3階）で行います。開始時間を1時間早めておりますのでご注意ください。前記『第四次産業革命』と『サピエンス全史上』をお持ちください。

会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル（旧居留地8番）の西隣（東京海上）の更に西隣（6番）の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。

読書会世話役 阪本豊起

令和元年度 慶應義塾大学 指定寄附奨学金授与証交付式



今後の予定

●12月家族例会

お一人様での参加も大歓迎！

日時：12月7日（土）18:00分～
（受付：17:30～）

場所：神戸ポートピアホテル
南館地下1階「ダイヤモンド」
会費：9000円／ビジターは+1000円
☆恒例のオークションを行いますので、何か一品お持ち寄りください☆
☆参加ご希望の方は、氏名・卒年・学部を事務局までお知らせください☆

●新年顔合わせ会

日時：1月4日（土）11:30～14:30
場所：神港ビル6階 倶楽部ルーム
☆多少のお飲み物やつまむ程度の食べ物をご用意いたしますが、差し入れ等をご持参くだされば幸いです☆

☆行事やイベント等はありませんので、ご都合のつく方は上記時間帯で自由にお越しください☆

●第185回福澤諭吉先生 誕生記念祝賀会

日時：1月10日（金）18:00～21:00
（受付：17:30～）
場所：ホテル阪急インターナショナル 4階「紫苑」

●1月新年例会

（関西不動産三田会との合同例会）
日時：1月24日（金）19:00～
（受付：18:30～）
場所：西村屋和味旬彩
※日程変更しています。ご注意ください。